

福島第一原子力発電所の 固体廃棄物の保管状況について

平成26年11月27日
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

2-3. 固体廃棄物貯蔵庫9棟の設備概要と進捗状況

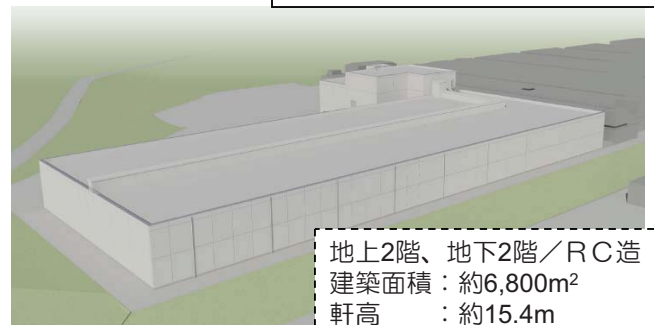
■保管容量

200ℓドラム缶 約110,000本相当
※1～8棟の保管容量：200ℓドラム缶約284,500本相当

■保管イメージ



■建屋イメージ



平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋

【実績・計画】

- ～H26年11月：9棟設置エリア整理（実施中）
- H26年12月～：準備工事
- H27年 4月～：建築工事
- H27年 6月～：機電工事
- H29年：運用開始予定



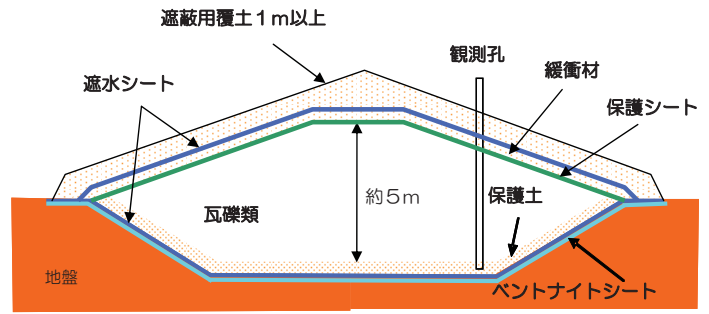
2-4. 覆土式一時保管施設第3槽の施設概要と進捗状況

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋

■設備概要

- 規模
：約80m×約20m、高さ：約5m（最大）
- 保管容量
：約4,000m³/槽
- 保管物
：瓦礫類（表面線量率：30mSv/h以下）

■断面概略図



第2槽の例（H26.4.25）



第3槽設置エリアの掘削状況（H26.11.11）

【実績・計画】

- H26年11月10日：
設置エリアでの掘削開始
- H27年3月～：
瓦礫受入開始予定



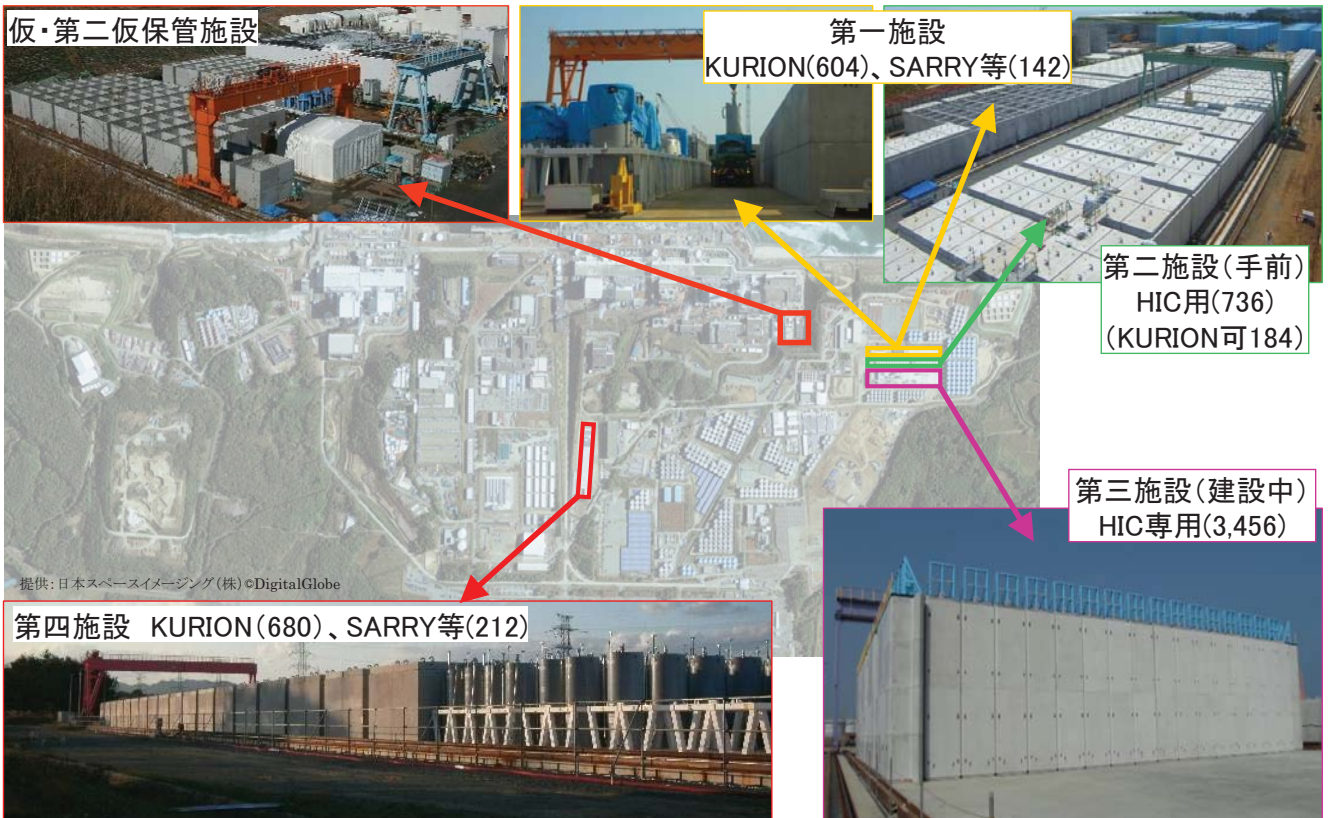
東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

7

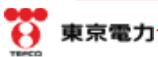
3-2. 現有のセシウム吸着塔保管施設

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋



提供：日本スペースイメージング(株) ©DigitalGlobe

注：括弧内は実施計画所載の保管容量



東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

14

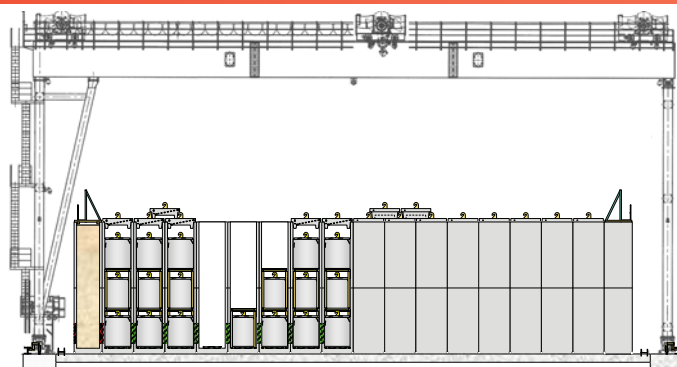
3-4. 第二施設及び第三施設の状況について

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋

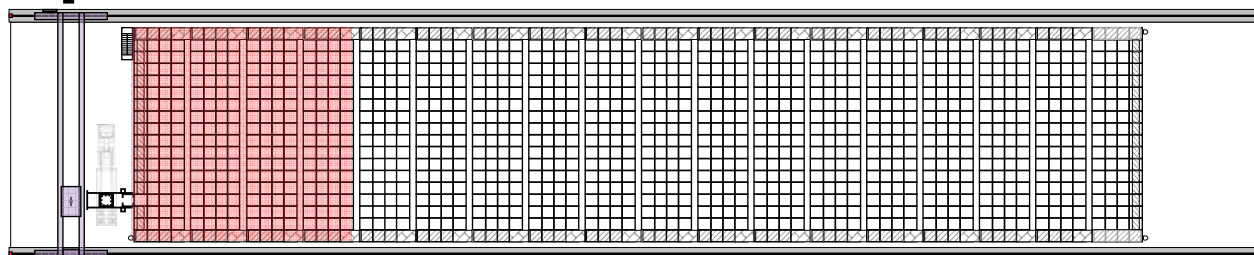
- 多核種除去設備から発生するHICを保管可能な施設として運用中のものは第二施設のみ。このため当社は、**第三施設を建設し、HICの安定保管**を期している。
 - 第二施設と第三施設の**並行運用**により下記を実現。
 - ◆万一いずれかの施設で不具合が発生した際にも、片側の施設で受入れ継続。
 - ◆HICの発生量が多い場合には両施設で並行して受入れ可能。
 - 第三施設の放射線遮へい能力は第二施設に比べて高く、**敷地境界線量低減への貢献**を期待。
- 第三施設は実施計画が11/20に認可され、使用前検査受検等、運用開始に向けた準備を進めている。

【参考】第三施設について

平成26年11月25日
廃炉・汚染水対策現地調整会議（第15回）
説明資料より抜粋



建設済 | 建設中



H25.4 建設着手
H26.2 768基分完成（全3,456基まで増設中）
H26.4 実施計画変更申請
H26.11 実施計画認可